

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373900634
事業所名	グループホームソブエピア

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入している。昨年度に引き続き地域イベントの自粛や感染対策にて地域交流の機会を持っていないが、地域清掃活動への参加があり、近隣住民との交流を図り協働関係を深めている。また住民とは散歩時に挨拶を交わす等、近所付き合いの関わりを継続できている。入居相談の問い合わせには、話を傾聴し困り事に合わせてアドバイスをし、専門性を活かした活動にも繋げている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は規定通り定期開催し、昨年度に引き続きコロナ感染対策にて書面での開催実施した。市高齢介護課職員、包括職員の構成員には議事録を手渡しし、ホームの運営の実情を直接伝え意見を伺い、協働関係の継続に努めている。会議では、事業報告、事故報告、ヒヤリハット事例を報告。意見交換の場として活用され、運営の改善に向けて運用されている。議事録は職員全体に回覧し、ホーム全体でサービスに反映する体制を整えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市担当窓口には介護保険更新手続き等の書類提出で出向く機会がある他、何かあれば電話で相談して協働関係を築いている。包括支援センター、稲沢厚生病院とは地域情報の収集や直接的な関わりを継続し、馴染みの関係性を継続している。市町村主催の研修の案内がメールで届き、WEB開催の研修に参加して運営や職員育成に役立て、サービス向上に繋げている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月「ひめたより」を発行し、個人向けに手紙やコメントを寄せて日常生活の様子を伝えている。家族とは面会時や電話で話をする機会を作り、要望があれば職員間で周知してサービスに反映する様努めている。利用者からの要望は日常の関わりから把握し、「刺身が食べたい」との希望にはメニューを工夫して提供する等、出来る事を実践して要望を叶えている。利用者や家族双方との信頼関係を深め、良好な関係構築に繋げている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								